

れんごう中越地協

第1139号2023.3.11
 連合中越地域協議会
 長岡市愛宕3-7-24
 TEL 0258-86-0111
 FAX 0258-86-0884
 発行人 矢島 良彦
 定価 1部10円
 購読料は会費を含む



長岡地区労働者福祉協議会が主催

ワーク&ライフセミナーに多数参加



長岡地区労働者福祉協議会(以下労福協)連合中越地域協議会、労働金庫、こくみん共済coop、NPO等で構成)が「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉型社会の実現」をテーマに、2月23日ホテルニューオータニ長岡NCホールで開催した。

午前の講座は「社会的包摂、誰ひとり取り残さない地域社会に向けて」、午後の講座は「子どもの権利が守られる地域社会に向けて」。

この事業は(公財)新潟県ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源に、(一社)新潟県労協と共催。長岡市、長岡市教育委員会から後援を受け、例年2月に開催している。講座1は、10時開会。矢島会長あいさつ後、「梅切らぬバカ」

(加賀まりこ、塚地武雅主演で約80分)を上映。この映画は、自閉症を抱える50歳の子どもが社会の中で生きてゆく様子を温かく見守る包容力あふれる母親が、地域コミュニティが、地域コミュニティといつた問題と、親子のきずなと深い愛を描いた内容。今、ジェンダー平等が叫ばれている今日、私たちが包容力を高め、共生するこ

の大切さを訴えたものであった。上映後は「障害児ママサポーター」の金内さんと「長岡く」の金内さんとNPO法人女のスペース・ながおかの田中さんから活動報告を受け、板倉副会長の閉会あいさつで12時に終了した。

講座2は、13時30分に開会。矢島会長挨拶後、「ゆめパのじかど」(川崎市高津区の子どもの遊び場を3年にわたり撮影した約90分もの)を上映。今を生きるすべての子どもたちと、かつて子どもだった大人に贈る生き

と、講座1では多くの参加者が「共生は重要だ」「多様性を重んじる社会実現を」等大変満足だったという声をいただいた。主演の加賀まりこさんが「いやでも『明日』はやっていく。この親子の日常は続く。どうか、見守ってください。」「という言葉を、何時までも心に残っている。

講座2には子供たちの参加も多く、大人たちの昔を今の子どもたちにどう伝えられるか? きみはきみのままでいい! など、子ども達の安心な居場所が必要だという意見が多かった。

超少子高齢社会が目下の前に迫っている。2025年には高齢化率は30%に達し、2040年には35%(3900万人以上)と推計され、高齢者世帯は増加し、子どもが減少。高齢者をはじめ家族のこれからを考えていくとき、子どもと一緒に楽しく暮らす当たり前の生活を送るために、今回の映画を参考に共生社会実現を目指していきたい。

今回は、一日のセミナーだったが、次年度以降も週間セミナーや

先日ニュースで、「コウベタヌキノシヨクダイ」という植物を兵庫県で見つけたとありました。この「コウベタヌキノシヨクダイ」とは、ガラス細工のような花を咲かせることから「妖精のランプ」とも呼ばれており、光合成をせずに土の中にいる菌類から栄養をもらって生活するという少し変わった植物で、普段は落ち葉の下に隠れているが、ガラス細工のようなきれいな花を咲かせるそうです。花びらが開いた形がろうそくを立てる燭台(しよくだい)に似ており、タヌキが利用していたと見立ててその名が付いたとも記事にありました。この発見は1992年に神戸市の森で1個体が見つけただけの植物で、既に絶滅したと考えられています。



あてご3

《No.77》



副議長

永井 研

発見という事で、32年ぶりに取り上げられていました。32年前という、私も社会人になる前で労働組合などという言葉すら知らなかったと思います。この年の出来事と言うと、歌手の尾崎豊の死去、山形新幹線開業、金丸信が閣議金問題で議員辞職、チェッカーズがこの年の紅白歌合戦の出演を最後に解散、などいろいろ懐かしい出来事がありました。因みに私の出身産別である電機連合がこの年に電機労連から名称を変更。さらに春闘ではバブル崩壊の中、最後の5桁賃上げをしたそうです。現在と32年前に何の関連があるか?と思いましたが、何も出て来ず(笑)苦しいまとめになります。5桁賃上げと興味深い事実もあったよ。うなので、今春闘に同様な結果が得られるよう頑張っていきたいと思えます。

連合中越地協

第4回S Jネット委員会

日時 3月24日(金)18:30~

場所 地協事務所

内容 当面する活動について
その他

隔日セミナーなど多様なスタイルでのセミナーを開催していく。(今井長岡地区福協事務局長)

サラリーマン川柳(帰宅して うがい手洗い 皿洗い) (痩せれない 体質ではない 食べている) (「これ優先」 みんな言うけど どれ優先?) (高反発 枕と妻と 若い部下)

